

2012. 3. 29

札幌白石区 姉妹孤立死問題

わが街いしかりで共に考える集い

主 催 P & A いしかり設立準備会

すでにみなさんも新聞などの報道でご存知かと思いますが、今年の1月20日、札幌市白石区のマンションで、40代の姉妹の遺体が発見されました。姉は病死、知的障がいの妹は衰弱の末に凍死したとみられ、料金未納でガスや電気の供給を止められていました。

こうした孤立死は、釧路でのアパートに住む84歳の認知症の夫を介護していた72歳の妻が病死し、夫が凍死。また、東京都立川市のマンション一室で病死の母親と衰弱死の知的障がいがある男児（4歳）の遺体が見つかるなど相次いでいます。

これは他所の街だけの問題ではなく、私達の身近な地域でも起こりえる問題です。

「札幌市白石区での姉妹孤立死」を通して、

- ・ この問題の経過を共に振り返りましょう。
- ・ わが街石狩市でも身近に起きえる問題として考えてみましょう。
- ・ こうした孤立死を二度と繰り返さない為に、何が必要か考えてみましょう。
- ・ そして、今わたしたちが出来ることは何か。この街でみんなのできることは何か。

共に考え合い、具体的な行動につなげていきましょう。

1. 札幌市白石区姉妹孤立死問題の経過報道を通して



2. 報道情報から

この間の一連の孤立死報道

(1) 東京都立川市母子孤立死

2. 報道情報から

この間の一連の孤立死報道

(2) 横浜母子孤立死

3. これらの問題を通しての動き

(1) 行政の動き（道・市町村）

3. これらの問題を通しての動き

(2) 行政（道と札幌市）と電気
やガスなどのライフライン事業
者との検討会議

3. これらの問題を通しての動き

(3) 当事者・家族会の動き

3. これらの問題を通しての動き

(4) 地域・町内会での動きや 取り組み

3. これらの問題を通しての動き

(5) 福祉関係機関・事業所の 動きや取り組み

4. これらの問題を通して

- ・ 滝川市から札幌市への引越しにより、つながりや支援が途切れた
- ・ 相談事業所に相談するも連絡が途絶えた
- ・ 生活保護の相談を3回するも、途絶えた

（保護課の聞き取りで知的障がいの妹がいることや生活困窮状況がわかっていたのに申請がないからと）

（同じ区役所内の生活保護課と障がい支援課とはつながらなかった）

- ・ 個人情報保護ということが、つながることを途絶えさせた
- ・ 命に関わる電気、ガスが途切れた
- ・ 町内会・マンションの人たちとのつながりは無かった。

4. これらの問題を通して

情報からの孤立

- ・ 悩みを聴いてくれる人がいない
- ・ 相談できる人がいない
- ・ 利用できるサービスや制度を知らない

遠慮や拒否による孤立

- ・ 家の中に入って欲しくない
- ・ 迷惑をかけたくない
- ・ 人の手を借りずに自分で頑張る
- ・ 干渉しないで、そっとして欲しい

しかし、周りの私達が孤立を防ぐ為には

「気づき」「つなぎ」「見守り」のしくみと協力の輪をどうつくるか

5. 参加者みんなで考えよう

孤立しないためにはどのような「気づき」「つながり」「見守り」のしくみと協力の輪が必要？

教育機関
保育園・学校等

市役所・行政機関

検針・配達業者・
コンビニ他

メモ

親の会・家族会

親族

自治会・町内会

障がい福祉事業所関係

P&Aいしかり

いま、わたしたちにできること・・・

まず、私たち自身のふりかえりから。

そして、具体的にできることを

見つけましょう

6. まとめ . . .